県PTA広報 とっとり
令和4年3月1日
87号
このロゴマークは八橋小PTAの中本優紀さんのデザインによるものです

編集・発行　鳥取県PTA協議会
事務局
〒680-0846 鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL:0857-21-2285
FAX:0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
https://tottori-pta.net/

教育長へ要望書を提出しました

令和3年12月23日(木)、令和4年度鳥取県教育予算に関する要望書を足羽英樹鳥取県教育長に提出しました。この要望書は鳥取県PTA協議会の総務委員会(令和3年度は西部ブロック担当)が中心となって作成し、三役会・理事会で検討してきたものです。

足羽教育長とは、不登校児童生徒数の増加傾向についてや、教員配置の更なる充実について、通学路の安全確保、インターネット利用教育啓発活動について意見交換をいたしました。

学級編成基準については国の35人学級の導入決定を受け、鳥取県としてはさらに小学校全学年30人学級の導入する方針という新聞報道がありました。教員が児童に接する時間を増やし、児童に寄り添った教育に期待します。

また、鳥取県議会の各派を訪問させていただき、来年度の予算案要望について説明の機会をいただきました。

令和3年度の要望の回答書と令和4年度の要望項目はP4をご覧ください

CONTENTS

P1
○教育長へ要望書を提出
○令和3年度日本PTA年次表彰

P2～3
○知らなかったよ『県PTA協議会』こんなことしてたんだ

P4
○令和3年度要望と回答
○令和4年度要望書

P5
○PTA活動実態調査アンケート結果

P6
○三行詩コンクール
○第51回日本ＰＴＡ中国ブロック益田大会報告

P7
○鳥取県ＰＴＡ研究大会報告
○とっとり子どもサミット報告

P8
○入江聖奈選手からのメッセージ

令和3年度日本PTA年次表彰 おめでとうございます

令和3年11月19日にホテルニューオータニ(東京)において表彰式が行われました。受賞された皆様、おめでとうございます。

優良PTA文部科学大臣表彰　三朝町立三朝中学校PTA

日本PTA全国協議会会長表彰

(団体の部)　鳥取市小学校PTA連合会
東伯郡中学校PTA連合会

(個人の部)

米子市小中学校PTA連合会	山本　光陽	氏
鳥取市中学校PTA連合会	田口　朋子	氏
倉吉市小学校PTA連合会	星見　旗司	氏

全国小中学校PTA広報紙コンクール

日本PTA全国協議会　会長賞　大山町立名和小学校PTA
佳　作　三朝町立三朝中学校PTA

文部科学大臣表彰の三朝中学校は各専門部や地域が主体となり、会員の全員参加やOBOG会員も支援できる組織を運営し、PTA活動が地域の活性化にも寄与している点や、親子食育教室や全家庭での人権絵本の輪読の取り組み等が評価されました。

日本PTA団体表彰は、コロナ禍でも研修や絆を大切にした取り組みが評価されました。

また、全国広報紙コンクールでは、学校行事やPTA行事にたよらず、普段の生活を記事にしたり、子どもたちの素朴な疑問に答える特集を組んだり、コロナ禍での子どもたちの学校生活の変化の記事等が評価されました。

知らなかったよ！『県P』

組織構成：県Ｐは鳥取県内の各郡市小学校ＰＴＡ連合会及び中学校ＰＴＡ連合会をもって組織されています。
各連合会に所属する学校ごとに組織されたＰＴＡの会員によって組織されています。
目　　的：鳥取県の教育振興上の諸問題を研究討議し、その解決に寄与すると共に児童生徒の福祉を増進することです。

単位PTA、市町村ＰＴＡ連合会 ⇔ 連携 ⇔ **県**

それぞれのPTA活動の下支えとなるような取組をしています。　**意見交換、情報共有を通して感じた教育課**

役員研修会開催

例年６月頃に東部、中部、西部それぞれの会場にて研修会を開催します。PTA 役員の資質向上を目指します。

内　容：研修（PTA 課題・人権・いじめ不登校・広報紙作成など）
子どもサミット（メディアとのより良い付き合い方の主体的ルール作りワークショップ）

研究大会開催

例年 12 月頃に開催します。県内の PTA が同じ方向を向いて活動できるよう一堂に会し士気を高めます。

内　容：施策説明　県の教育関係の施策説明
実践事例発表　特徴のある PTA 活動の紹介を発表
基調講演　普段中々聞けないお話を聞くことができます。

団体加入保険　団体加入保険のメリット　加入人数が多いことで割安で、よりきめ細やかな保険を利用することができます。

表彰事業　広報紙コンクール、三行詩コンクール、団体・個人でご活躍され模範となるものを表彰し、PTA 活動の振興発展に寄与します。

新一年生向けＰＴＡチラシ配布　各学校の PTA 活動の説明、PTA 参加に役立ててもらいます。

調査研究

R2 年は、コロナ禍にお
R3 年は、コロナ禍にお
その他、インターネット
ど問題は山積みです。

三役会

会長・副会長５名（県小
各ブロックから選出された
会に付す事項の協議を行っ

理事会

郡市 PTA 連合会代表者
いて審議します。

総　会

三役、理事、評議員、監
会計・決算報告など決議し

ちなみに『日P』とは!?

公益社団法人
日本PTA全国協議会

簡単ポイント説明

1. 全国64協議会からなる日本最大の社会教育関係団体であり、公益社団法人で
2. 文部科学省や教育関係団体と連携を深めており、国の教育施策に関わる中央教
3. 国際社会で活躍できる次代を担う人材を育成するため。子ども対象とする諸外
4. 各地区ブロック大会、全国大会を開催し、学校教育、家庭教育の質の向上につな
に寄与しています。
5. 三行詩、広報紙コンクール、年次表彰事業などを通して全国規模でPTAの活性

こんなことしてたんだ!!

県P事務局
鳥取県民ふれあい会館３F
鳥取市扇町21番地
TEL 0857-21-2285

この近年の県Ｐの取組みや、
県Ｐの役割をご紹介します。

鳥取県PTA協議会
Ｒ３年度会長　松岡智也

Ｐ 連携 県教育行政

題を研究討議し、解決に向けた取り組みを行います。

県教育委員会、その他団体などと連携をとっています。

ける家庭の影響実態調査アンケートをしました。
ける単Ｐ活動実態アンケートしました。
などのメディアに関わるトラブル、いじめ不登校な

学校校長会、県中学校校長会の先生も含む）、
ブロック代表理事と年5回程度の会議を持ち、理事
ています。

と会の運営基本方針、事業計画、予算執行などにつ

事を持って構成され、事業報告、事業・予算計画、
ます。

す。
育審議会にて答申を行っています。
国との国際交流や研修を行っています。
げ、全国規模で子どもたちの健全育成を見守る環境作り

化に寄与しています。

日本PTA全国協議会の
HPはこちらから

日P　QRコード

県教育予算等に係る要望活動

年に一度、教育課題に対する要望をまとめ、県教育長に渡し、回答をもらいます。

＊本紙４ページをご覧ください

＊過去の要望と回答については鳥取県 PTA 協議会ホームページをご覧ください

諸会議への参加

新型コロナウイルスに打ち克つ新しい県民生活会議
運動部活動在り方検討会
鳥取県いじめ不登校対策連絡協議会
鳥取県総合教育会議

エキスパート教員選考など約 40 の会議に PTA 代表として参加しています。

教育懇談会

県Ｐ役員と県教育委員会の方が数ある教育課題に対しテーマ別に意見交換を行います。

県Pの活動報告や案内はこちらから！

インスタグラム　フェイスブック　県P HP QRコード

令和3年度 鳥取県教育予算に関する要望と回答

※紙面の都合上、抜粋しています。全文は県PのHPをご覧ください

要　望　項　目	県の対応方針
1．新型コロナウイルス感染症と向き合う、新しい学校生活様式の実現に向けて	
子どもたちの安心・安全且つ、充実した学校生活が送れるよう、鳥取県教育委員会としてガイドラインを制定するなど、県内どこの学校でも同じ基準での対応がなされることを要望 ⑴適切な感染症予防対策と同時に、誹謗中傷などによる子どもたちの心身への負担にならない環境づくり ⑵感染者の性別、学校名の公表をどう行うのかなど、基準を設け、県内統一の対応となる対応マニュアル作成 ⑶オンライン授業の体制整備。実施するうえで学校現場においてもハード面、ソフト面の不安を解消すべくＩＣＴ支援員の配置を学校規模に応じて適切に配置	⑴「誹謗中傷や差別の防止対策」を繰り返し行うことに加え、必要に応じて緊急メッセージを発信 ⑵令和２年５月12日に学校運営上取るべき対策等の指針をまとめた「鳥取県市町村（学校組合）立学校用新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」を作成。今後も必要に応じて改訂・追加を行う。 ⑶ＩＣＴ支援員の配置について、計画的な配置を市町村に働きかける 県内８市町村で実施した遠隔授業実証実験で培った、ウェブ会議システムによる授業配信等の知見を伝え支援 ＩＣＴ支援員へ助言等を行うＩＣＴ活用教育スーパーバイザーに加えて、教員に指導を行うＩＣＴ教育アドバイザーを配置するように予算要求
2．不登校児童生徒数の増加傾向について	
試行的に県内３中学校において、校内サポート教室を設置。今後速やかに設置校を増やしていただくとともに、小学校への設置も進めていただくよう要望。また、不登校の子どもに対し、学校に通うことだけを最終目標とせず、その子どもが安心できる居場所づくり、学習のサポートが行われるよう要望 各種相談窓口が有効利用されるよう広報と、きめ細やかな相談体制の構築を要望	校内サポート教室については、設置校における成果や課題等を整理した上で、設置校数の検討を進めていく。 不登校児童生徒への支援の考え方や在り方等については、令和２年８月「不登校の理解と児童生徒支援のためのガイドブック『あしたも、笑顔で』」を作成。児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立することをめざす必要がある」ことを示すとともに、児童生徒理解に基づいた支援の重要性等を示している。 各種相談窓口については、関係支援機関とも連携しながら、より多くの方々に情報が届くように取り組む。
3．教職員が心身ともに充実し、子どもたちに向き合える環境について	
教職員の過度な業務量、長時間勤務が問題 専門医に相談できる体制づくりなど、あらゆる面でのメンタルサポートが行える体制づくりを要望 併せて、全教職員に対し、外部専門家による定期的なメンタルチェックと支援体制が取られるよう要望	教職員の健康相談に随時応じる「心の健康相談員」について周知を図る。また、ストレスチェックは、職員数50人未満の場合でも努力義務。適切な対応と長時間勤務等の労務管理を市町村に対し働きかける。
4．部活動の在り方について	
部活動がこれまでと同様の体制では成り立たなくなっている。 学校、保護者、地域、各種競技団体の繋がりが必要 運動部活動外部指導者、部活動指導員の配置の充実を要望	部活動指導員、運動部活動外部指導者とも、部活動の充実及び教員の負担軽減に大変効果的であることから、各市町に対して、配置の拡大を働きかける。部活動指導員について、周知を図り、人材確保につなげていきたい。
5．教員配置の更なる充実について	
これまで以上に一人一人の児童生徒に向き合う時間を十分確保するとともに、きめ細やかな指導が展開できるよう、30人学級の完全実施を国に対して働きかけていただくと同時に、国にさきがけて鳥取県独自で30人学級を制度化し、職員配置をしていただくことを要望 ＧＩＧＡスクールの導入など教員の負担増。新規採用者の数が定年退職者等の補充のみで終わらず、更なる教職員の配置数増を要望	県内の小・中・義務教育学校の６割程度の学級が既に25人以下学級に、８割強の学級が30人以下の学級。さらなる少人数学級の拡充のための教職員定数の改善について、これまで国に対して要望。国の予算折衝において、義務標準法を改正、小学校について令和３年度から５年かけて学年進行で35人以下学級の教職員定数が改善。今後も少人数学級制度について、より一層の成果が上がるよう取り組む。 また、各学校の課題解決に繋がるよう、加配分の配置方法や活用内容を見直す。

令和4年　要望書

1．新型コロナウイルス感染症と向き合う、新しい学校生活様式の実現に向けて

⑴適切な感染症予防対策と、誹謗中傷などによる子どもたちの心身への負担にならない環境づくり

⑵学校行事等は感染拡大状況等を考慮しながら、withコロナでも実施可能な代替案を検討し、体験から学べる学習機会の確保と、記憶に残る学校生活が送れるよう、市町村教育委員会及び学校と連携し、取り組みの推進

⑶「鳥取県市町村（学校組合）立学校用新型コロナウイルス感染症予防ガイドライン」により児童生徒の生命や健康を保護し、安全性を確保した教育活動の推進

⑷市町村教育委員会及び学校との連携により、オンライン授業の体制整備に係る予算確保、ＩＣＴ支援員の配置に対する計画的な働きかけと、ＩＣＴ支援員、教職員への研修の充実。学校規模に応じて対応できるよう、ＩＣＴ活用教育スーパーバイザー、ＩＣＴ教育アドバイザーの適正な配置

2．不登校児童生徒数の増加傾向について

鳥取県においても、不登校の子どもが年々増加していることから、それに対応した体制づくり。すべての子どもが安心して学べる環境づくりのためにも、校内サポート教室設置校を増やし、小学校への設置も要望

子どもが安心できる居場所づくり、学習のサポート等、個々の状況に応じた支援が行われるよう県内の学校への働きかけや研修会の充実。各種相談窓口が有効利用されるよう更なる広報と、よりきめ細かな相談体制の構築

3．教職員が心身ともに充実し、子どもたちに向き合える環境について

専門医に相談できる体制、メンタルサポートが行える体制つくり、「心の健康相談員」の周知の推進。職員数50人未満のストレスチェックへの取り組、市町村への働きかけと連携体制の構築の推進

コロナ禍と心身の負担が増えている子どもに応じたきめ細かい支援ができるよう、養護教諭配置への加配対応を要望

人材育成の面では、市町村教育委員会と学校がオンラインも活用しながら、これまで以上に連携し、チームとして若手教職員のＯＪＴ研修に取り組むことのできる仕組みづくりの検討を要望

4．部活動の在り方について

これからの部活動の在り方について、「鳥取県運動部活動の在り方に関する方針」に掲げられている、運動部活動外部指導者、部活動指導員の配置の拡大への働きかけとともに、制度の普及促進を引き続き要望

5．教員配置の更なる充実について

⑴児童生徒に向き合う時間の確保と、きめ細かな指導が展開できる職員配置のために、学習支援員や特別支援学級への加配等の各種加配の増員や、通級指導教室の拡充、スクールソーシャルワーカーの増員を要望

⑵新規採用者数が定年退職者等の補充のみで終わらず、更なる教職員の配置数増となるよう、教職に対する魅力の発信等で鳥取県における教職員採用の促進に努めるように要望

6．通学路の安全確保について

県が定める、「通学路等における児童等の安全の確保に関する指針」で通学路等における安全な環境の整備や、関係機関との連携等、様々な取り組みにおいて、市町村教育委員会及び学校、我々PTAや各種団体との一層の連携強化を図り、県内における危険箇所の洗い出しや速やかな対策の予算確保を要望

7．インターネット利用教育啓発活動について

GIGAスクール構想により、学習活動の一層の充実が期待され、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善がより進むことを願う。

多くの子どもたちにインターネットによる悪影響を受ける危険性が高まることを危惧。学校、家庭において、より一層のネットリテラシー教育を推進する必要

電子メディアとの付き合い方学習ノートを活用、ＰＴＡ研修会、とっとり子どもサミットなどを通して電子メディアとのより良い付き合い方を学ぶ機会の充実を要望

子どもたちのネットリテラシーの向上を図るために、タブレット端末やYouTubeを起動、利用する度に、正しい利用の呼びかけ画面の表示等、これまでにない手法等を取り入れ、注意喚起の積極的な働きかけを要望

県の対応方針の回答が届きましたら、県PのHPに掲載いたします

令和3年度PTA活動実態調査アンケート結果

各校のPTA活動については、新型コロナ禍で、配慮すべきことが多くあり、それぞれ、大変なご苦労をされています。
中には、活動を工夫して実施している学校もあります。また、PTA活動の意義を考えたり、活動を見直す機会ともなっています。
各校PTA活動についての実態と情報共有をすることによって、“Withコロナの活動“を一緒に推進していきたいと考えます。
※ 記述は抜粋して掲載しています。アンケート結果は県PのHPにも掲載しています。

対象：鳥取県内173校のPTA会長
調査期間：令和3年11月2日～30日
方法：Google　foamsによるオンライン回答
回答数：109　回答率63%

【実施できた活動】

○奉仕作業
- グランド除草活動(親子参加)　屋外活動のみ実施できると判断した。
- 資源回収を1週間にわたり実施、資源の大切さについての授業をしたりした。
- 環境整備:規模縮小、資源回収:ドライブスルー方式
- 子どもたちは抜きで、親のみ2日に分けて実施

○あいさつ見守り活動
- 3学期ごと、クラスごとに毎週水曜日マスクを着用し実施(朝7時半～８時)。参加者：校長、教頭、学年担当教員、PTA会長、保護者
- 登校時の挨拶運動ができなくなった為通学路点検を兼ねて下校時間に合わせて車で通学路を周る見守り活動へ変更

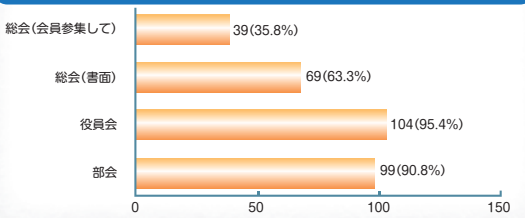
○親睦行事
- PTA事業はコロナ警報が発令されたら全て中止
- 茶話会→換気の良い広い多目的ホールで短時間開催
- 室内で行う球技大会をやめて、親子で楽しめる野外活動をした。(川の探検)

○研修・講演会
- 人権研修会は、入口で検温と消毒、体育館で間隔を広く取り、ソーシャルディスタンスを保って実施

○懇談会
- 学年懇談は、隔学年の時差開始、教室ではなく、集会室等の広い場所を使用

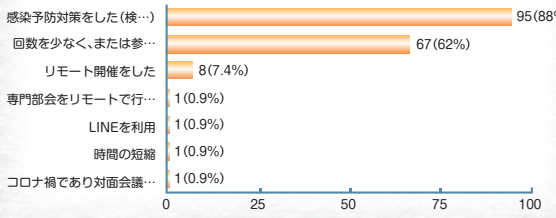
○部会・委員会活動
- 部会：回数少なく、広報誌:回数少なく
- 広報は班に分け少人数で活動
- 集会形式での役員会ではマスクの着用と席の間隔を開ける配慮をした。
- 役員会、部会は必要最小限の回数で行い、後はLINEやオンライン

令和3年度の実施できた役員会について(予定も含む)

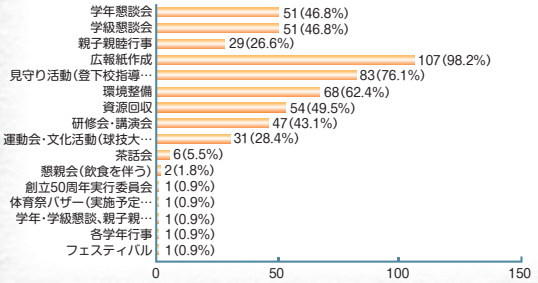


○その他の活動について
- 人数を制限して対策を取り、ほぼ対面で開催
- 少人数のものは対面で通常通り行い、多数参加の可能性がある講演会はYouTube LIVEでの開催とした。
- 書面やLINEを活用して、対面を極力減らすよう努めた。
- 基本的に人が集まるものは中止としたが、集まる必要性の高い学年は学年懇談、その必要性が低い学年は割愛。また、いずれも参加するしないは、家庭の自由意思とした。
- 健康チェックシート・検温・手指消毒・換気・マスク着用・校内でのリモート中継・座席消毒・導線確保
- おやじの会を夏場に実施。校庭の草刈りと木製ベンチのペンキ塗りをした。屋外の活動ですが、なるべくマスクを着用し、お互い距離を取りながら1時間ほどで作業を終了し懇親会は中止
- 児童たちが学校の周辺を散策しながら地域文化を学ぶ行事に対する手伝い。
- ほぼ例年通りの活動は実施したが、感染対策した内容に変更したり、時短したりと例年とは内容の精査に時間を使った。各家庭1人参加、外又は広い場所での活動、飲食、販売は避けて、リモート、オンラインを利用。フェスティバルは、児童がiPadを持って、校舎全体を使ってQRコードの問題を謎解きし、低中高学年で回答を入力送信して、キーワードを手に入れ、次のルートへと進むという縦割りグループでの競い合いをした。

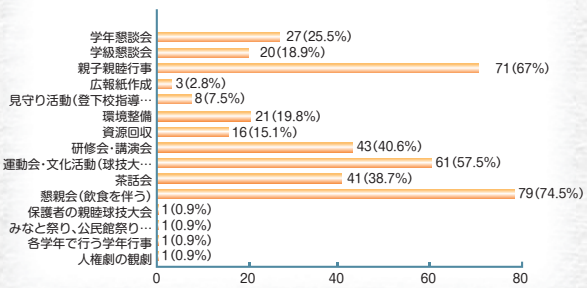
令和3年度は役員会を実施で配慮した事について



実施できたPTA活動について(予定も含む)



実施できなかったPTA活動について



【実施できなかった活動とその影響】

○実施できなかった活動
- 飲食を伴う会(子供も大人も)
- 親子会、懇親会(会員の横の繋がり不足)
- 入学して間もない1年生の親子の交流として行っていた親子会が実施できなかった。

○その影響について
- 環境整備ができなかったことで、先生の負担が一部大きくなった。球技大会や懇親会がなく保護者同士の顔がわからない。
- 役員さんの顔がわからなかったり。保護者の顔と児童の顔が一致しなかった。
- PTAの存在意義について考えさせられた。
- ないならないでなんとかなることがわかった。
- 校内球技大会が出来なかった事により、保護者間や先生との交流の場が無くなり、親睦を図る事が出来なかった。
- 無駄を見直すよいきっかけとなった。
- 保護者同士の出会う数が少なく特に低学年の保護者が誰のお父さん、お母さんか分からない。
- 保護者同士・先生、役員同士での繋がりが希薄となっている。
- 2年連続で親子親睦行事や保護者親睦行事ができておらず、これまで積み上げてきた経験が、きちんと来年度以降の役員に継承できるかどうか心配
- 親睦行事が出来なかったので子どもの楽しみが減った。
- 役員以外の保護者の意見や不安を聞き取る機会が少なかった。延期・中止の判断も含めて特定の参加者で決議した内容について、本当にそれを総意とみなして良いのか自信の持ちづらい中で決定・行動に移すことが多かった。
- 球技大会→今後は廃止で良いとの結論(元々人集めに苦労していた、球技苦手な人への求心力が弱い、など)
- 事業部の活動ができなかったため事業収入が ほぼなくなった。
- PTA活動についての再構築、会員同士の希薄化、意欲低迷

【今後の課題】
- リモート等活用し、負担の軽減を図る必要がある。
- 夜間の役員会等、行事の簡素化・効率化(例年実績にとらわれず減らす事を考える)
- コロナ禍における解釈は各家庭で異なり、折衷案を出すのがPTAの腕の見せ所に思う。
- 中止したことで特に大きな支障がなかったという実績ができてしまった事業も多くあるため、元の活動にそのまま戻す必要があるのかどうかの精査が必要。中学校の場合は３年間の在学期間のうち、２年間がコロナ渦であったため、絶対的なPTA事業経験の少ない家庭が増えてしまったことで、例年の活動自体を知らない層も多い。
- 学校に、リモートなどでも活動出来る機材が揃ってきたので、活用させてもらって講演会や研修会などは催したい。長く続いてきた地域との関わりが強いバザーも、どうにかして再開したいと考えている。
- 活動を縮小しているため、コロナ終息後に例年通りの活動ができるかが課題(継続性の確保)
- ウィズコロナでの新たな活動方法をどう構築していくか。
- 郡Ｐ単位での研修会や部会などが開催できなかったので開催方法が課題
- 具体的にどこまでがセーフでどこからがアウトかの判断がまだまだ個人では難しいので、その辺りのガイドラインがあれば助かる。
- コロナ禍の状況において、保護者によって考え方が様々である事を痛感、今後のPTA活動も特に話し合いが大事
- 今年度行えなかった事業に「影響ないなら不要では？」と誤解が生じかねない事、ただ「見直し」の機会にもなったと思う。
- 活動に対する意識が多様化していることから、合意形成の仕方が課題となっている。
- 2年間活動がなかったので通常に戻った時に、活動内容を引き継げるかが課題
- いかに負担が少なく、でも子ども達の為になるような活動は何があるのかが課題
- 不審者もちょこちょこ出てますので、子ども達の安全をしっかり守れるように努力して行かなければと思う。
- リモートを積極的に取り入れ、参加しやすくしたらよい 以前のような活動に戻す時に、その当時の方法、繋がりがなくなっていくため戸惑うことがでてくるのでは。

三行詩コンクール

入賞作品
小学生の部　5名
中学生の部　5名
一 般 の 部　5名

三行詩カレンダー
岩美高校・青谷高校・米子高校の書道部のみなさんのご協力で、素敵な三行詩カレンダーができました。
各校1部ずつ配布いたします。

令和４年度 楽しい子育て全国キャンペーン 三行詩募集

家庭で話そう！　我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ

テーマ　家族の会話やコミュニケーションから育まれる絆や、家族のルール
子どもたちの基本的な生活習慣づくりなどの家庭教育
一人一人の命のつながりや大切さ　家庭での日常の出来事　など

募集期間　令和４年３月１日（火）～令和４年６月30日（木）

募集対象　小学生・中学生・保護者・教職員等

応募方法　自筆の三行詩（短文）・氏名・年齢（新年度の学年）・学校名・住所・電話番号を記入し、所属学校へ提出、または直接下記の鳥取県PTA協議会事務局へ提出してください。
（三行詩は自筆で応募をお願いします。住所氏名等は保護者がご記入くださっても構いません）
※応募用紙は鳥取県PTA協議会のＨＰに掲載しています　検索　鳥取県 PTA 協議会

選　考　小学生の部・中学生の部・一般の部より優秀作品を選定し、日本ＰＴＡ全国協議会へ応募いたします。また、各部門から鳥取県ＰＴＡ会長賞（副賞：図書券3,000円分）１点と奨励賞（副賞：図書券500円分）数点を贈呈します。

令和３年度鳥取県ＰＴＡ会長表彰受賞作品

小学生の部
ありがとうと　ごめんなさい　家ぞくの中でも大事だよ
（鳥取市立瑞穂小学校３年　山中りつ人さんの作品）

中学生の部
嬉しいとき、悲しいとき、
いつでも「家族」という帰る場所がある
（大山町立名和中学校３年　石上日彩さんの作品）

一 般 の 部
ただいま　おかえりなさい
言える幸せ　言ってもらえる幸せ
当たり前ではない　今ある日常にありがとう
（鳥取市立桜ケ丘中学校　保護者　宇田川珠美さんの作品）

応 募 先
◆ 在籍する学校へ提出
［学校 PTA 担当者様］　応募作品を取りまとめて６月30日（木）必着で
鳥取県 PTA 協議会事務局まで送付をお願いします。
◆ 直接　鳥取県 PTA 協議会事務局へ提出　６月30日（木）必着
鳥取県 PTA 協議会事務局　〒680-0846　鳥取市扇町21番地（県民ふれあい会館内）
TEL：0857-21-2285　FAX：0857-21-0906
※応募用紙は鳥取県 PTA 協議会　ＨＰに掲載　検索　https://www.tottori-pta.net/

第51回 日本ＰＴＡ中国ブロック研究大会 島根県益田大会

大会スローガン
元気な家庭！ 元気な学校！ 元気な地域！
～つろうて子育て　清流の若鮎のごとく～

島根県益田大会は中国ブロック協議会役員と益田市PTA関係者のみが参集しての中国ブロックでは初のオンライン配信の大会でした。鳥取県は倉吉未来中心セミナールーム３をサテライト会場として42名が集まりました。
また、自宅等で85名の方が視聴されました。多くの方に視聴していただけたのは、オンラインのメリットです。

【実践発表】
「子どもと取り組むメディアコントロール」　益田市中西小学校PTA
「コロナ禍、私たちにできたこと、できなかったこと」　益田市高津中学校PTA
「国宝松江城堀川の水環境保全活動を通した　ふるさと教育推進プロジェクト」
松江市　千鳥の杜学園PTA（松江市第1中学校・城北小・内中原小・法吉小・生馬小）

小PTA
参加者の感想
益田市立中西小学校さんの「子どもと取り組むメディアコントロール」では、子どもたちに自ら目標を自分で決め、自己評価による振り返りを促すという取り組みは是非自校でも取り組んでみたいと思う内容でした。
益田市立高津中学校さんの「今、一番見せたいもの＝輝いている保護者の姿」は正にあるべきPTAの姿と思いました。
また松江市千鳥の社学園PTAさんの発表では、地域一体となって子どもを育成されている活動を拝見できました。

脳の能力　パソコンの10万台分！
自分の可能性は　今の3万倍！
自分の可能性を信じる事
自分の可能性に気づく事
子どもたちの可能性 ＝ 未来の力
＋　仲間の力　仲間の応援　Teamの一体感
誰かを喜ばせたい（利他の心）→ 可能性を引き出す
ありがとう（＝有り難し）←反対→ あたりまえ

参加者の感想
「子どもたちの可能性」について深く考えさせられる、またこれからの子育てに大変有意義なお話を聴講させて頂きました。
この鳥取においても一人ひとりの可能性を大きく伸ばし、羽ばたき飛べる子どもたちを育てていく事をPTAとして担い、活動していきたいと改めて感じるような大会でした。

令和３年度

鳥取県PTA研究大会

兼 令和3年度とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラム

「共に学び　共に語り　共に育てよう　心のふるさと」

ハワイアロハホールで行われた研究大会は、オンライン視聴もできるハイブリット形式の大会となりました。会場参集102名、ライブオンライン視聴106名、見逃し配信視聴のべ422名と、コロナ禍でも多くの方に参加していただくことができました。

施策説明

○ふるさとキャリア教育の取り組みについて
　鳥取県教育委員会事務局小中学校課　指導主事　山本祐 氏
○電子メディアとの付き合い方に関する取り組みについて
　〝とっとり子どもサミット〟の報告
　鳥取県教育委員会事務局社会教育課　社会教育主事　戸板正哉 氏

実践事例発表

○コロナ禍で工夫した PTA 活動
　倉吉市小学校 PTA 連合会　会長　梅谷友美 さん
○アフターコロナを見据えて見直ししたこと
　東伯郡小学校 PTA 連合会　会長　千熊一弘 さん

参加者の声

・県内でコロナ禍でも工夫して活動されている話を聞き、まだまだ出来ることはあるなと力をもらいました。

講演　「あーよかったな　あなたがいて　～優しさという温かい貯金～」

講師　教育サポーター　仲島正教　氏

憂いている人の側に来てくれる人、それが優しさ
人間の「心の銀行」に貯金がたくさんあれば辛いことがあっても乗り越えていける。

心の貯金＝優しさ、愛情
優しさは使えば増えていく
教育は足でかせぐ　自分が**足を運ぶ**
おれ、自分のことが好きや！⇨未来を見るようになる

10 秒の愛　　仲島正教

子どもって、忙しいときに限って、寄ってきます。
子どもって、なかなか　さっさとできません。
子どもって、なかなか　はっきりと言えません。
でも、
たった 10 秒でいいのです。
　まず子どもを抱きしめてあげてください。
たった 10 秒でいいのです。
　せかさずに、じっと聞いてあげてください。
すると、
　そこに「笑顔」が生まれます。
　そこに「つながり」が生まれます。
たかが 10 秒、されど 10 秒
「10 秒の愛」は子どもを幸せにするのです。

参加者の声

・ものすごく感動しました！！子どもとの関わりの中で、大切なことに改めて気づかせてもらいました。
・早く子どもを抱きしめたくなる、心が温かくなる、お話でした。
・「大人は子どもの未来の応援団」そうありたいと思いました。

島根県益田大会において、次年度開催のくらよし大会のPRをしてきました。
　実行委員会作成のPR動画の後、高力実行委員長と鍛川企画運営部長が代表として登壇して挨拶しました。現地参加とオンライン配信のハイブリット型で準備を進めています。

令和3年度 とっとり子どもサミット ～メディアとのより良い付き合い方の主体的ルール作りワークショップ～ を開催しました！

令和3年10月17日(日)10時～12時
伯耆しあわせの郷会議室

参加者：小学生3名・中学生6名・保護者4名　計13名

S.Tさん(小６女子)
動画を見るときのルール
①平日は1時間で夜10時まで
②休日は2時間で朝8時から夜10時までの間
③場所はリビングのみで暗いところは×
④画面から離れて動画を見る
⑤タイマーを設定
⑥ルールを守れなかったら一日没収

K.Tさん(中１男子)
動画視聴やゲームのルール
①時間は1時間半で夜11時まで
②場所はリビングか1階
　ダメな場所は自分の部屋・トイレ・ベットの中
③注意することは　暗いところは×
④タイマーをかけたり、時間をみながら
⑤約束が守れなかったら、一日没収か、時間短縮

鳥取県初のオリンピック金メダリスト!!
入江聖奈選手から子どもたちへ!!

入江聖奈選手のプロフィール

２０００年１０月９日鳥取県米子市に生まれる
小学校２年生の時にボクシングを始める
中学校では陸上部で８００ｍを専攻
　全国中学駅伝にも出場する
県立米子西高校１，２年時の全日本女子選手権連覇
２０１８年　世界ユース選手権銅メダル
２０１９年　日本体育大学へ進学
　世界選手権ロシア大会ベスト８
２０２１年　東京オリンピックボクシング
　女子フェザー級にて金メダル獲得
　日本女子ボクシング史上初のメダル
　鳥取県出身選手初の金メダル
　鳥取県県民栄誉賞受賞
　鳥取県スポーツ最高栄誉賞受賞
　米子市市民栄誉賞受賞
　紫綬褒章受章
　U２２選手権女子フェザー級にて金メダル獲得
　女子最優秀選手に選ばれる

入江聖奈選手にインタビュー

Q1 小学生の時はどのようなお子さんでしたか？

A 小学生の時はゲームが大好きで、負けず嫌いな子どもでした。

Q2 小学生の時にしていて良かったなと思う習慣やしない方が良かったなと思うことはどんなことですか？

A しておいて良かったところは最後までやりきる気持ちを持つことです。しない方が良かったことは思いつきません。それも含めて自分の人生だと思います。

Q3 家族の方の応援や励まし、関わり方など、原動力や励みになったことは？

A 両親は私に干渉しすぎませんでした。プレッシャーをかけるような言葉も一度も聞いたことがありません。「頑張っておいで」という距離感の言葉が、私をのびのびとさせてくれました。

Q4 忙しい中、練習と共にかえるの勉強も続けておられますが、励み続けるモチベーションを保つ秘訣は？

A 私はかえるが大好きだからもっと知りたい、と言う至ってシンプルな感情からカエルの勉強をしております。「好き」という気持ちです。

Q5 鳥取を離れて分かる鳥取の良さ、また、鳥取がもっとこうなったら良いのにと思うところは？

A 鳥取が東京のようになるのは違うと思いますし、鳥取の良いところ、悪いところ、全て含めて鳥取です。

Q6 小学生、中学生に向けてメッセージをお願いします。

A **自分のやりたいこと、好きなことを全力で楽しんでください！！**

PTA活動中の団体保険
（PTA団体傷害保険・PTA管理者特約付賠償責任保険）
PTAが主催する行事中に参加中のケガ・賠償事故を補償します。
例えば保険ってどんなときに支払われるの？

☆PTA団体傷害保険
・所属するPTAの行事であるバレーボール大会の練習中、転んで足を骨折してしまった。※PTAの管理下で練習を行っていることが条件となります。
・所属するPTAの行事であるバザーで食中毒を起こし通院が必要となった。※細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を含みます。

☆PTA管理者特約付賠償責任保険　※PTA活動の遂行に伴い法律上の賠償責任が発生する場合に支払いとなります。
・所属するPTAの行事である清掃活動時、草刈機を用いていたところ飛び石により駐車場に停車中の車にキズをつけてしまった。
・所属するPTAの共催行事である運動会でテントの張り方が悪く、倒れたテントが生徒にあたりケガをしてしまった。

このチラシは「PTA 団体傷害保険・PTA 管理者特約付賠償責任保険」の概要を説明したものです。詳しい内容につきましてはパンフレットをご覧ください。なお、ご不明な点は、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

●取扱代理店
株式会社　スマイル保険サービス
〒680-0822 鳥取市寺町2丁目２８６番地
TEL 0857-51-1033　FAX 0857-51-1034
＜受付時間＞平日：午前９時から午後５時まで

●引受保険会社
損害保険ジャパン株式会社
〒680-0822 鳥取市寺町2-１１２
アクティ日ノ丸総本社ビル２F
TEL 0857-23-3301　FAX 0857-27-1510
＜受付時間＞平日：午前９時から午後５時まで

【事故サポートセンター】
0120−727−110
【受付時間】24 時間 365 日
SJ20-00025
（作成日:2020/04/02）

団体契約なので 掛金が約42%割安
鳥取県 PTA 協議会　小・中学生総合保障制度（こども総合保険）

・学校から貸与される学習端末の破損による法律上の損害賠償責任を補償!!〈個人賠償責任補償（受託品賠償責任補償）〉
・トラブル被害対応補償付きプランなら、SNS、ネット、対人トラブルの被害にも備えられます!! ※W プラン、K プランの場合

2022 年 3 月現在の内容です

★ケガは 24 時間補償（熱中症・細菌性食中毒も補償）
★学校管理下動産補償（身の回り品補償）※JC プランを除く
★個人賠償責任補償　※自転車事故による法律上の損害賠償責任も国内無制限補償

詳細は鳥取県ＰＴＡ協議会 小・中学生総合保障制度のパンフレット、補償概要等をご覧になるか引受保険会社にお問い合わせ下さい。

【引受保険会社】　AIG 損害保険株式会社　山陰支店　　島根県松江市伊勢宮町 519-1　大同生命ビル 6F
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776（受付時間:午前 9:00～午後 5:00 土・日・祝日・年末年始を除く）

S-220307 有効期限 2023 年 2 月